

## 市民と市長との対話集会会議録【要旨】

令和6年7月9日 市民と市長との対話集会 中京学院大学 大塚ゼミ

### 開会

#### 学生代表挨拶

10月末にも市長と対話をして、シンという言葉がいいと思ったので、自分自身も意識している。

私たちは活動内容として、ドローン、消滅可能性都市、人口ビジョンなど、地域活性化の地域貢献について勉強している。本日はよろしくお願いします。

#### 市長挨拶

今行っている対話集会は、事前に決めたテーマについて、中津川市をより良くしていくための対話をしている。中京学院大学の4年生の皆さんから、ゼミで学んでいることや、中津川市で4年間生活して、中津川市の悪いところ、変えていくといいところなど、率直な意見を聞きたい。

～参加者自己紹介～

#### 参加者

対話集会の中で、取り入れやすい意見や質問はありましたか。

#### 市長

取り入れやすいというか、市民の皆さんは知らないが、もうすでに取り組んでいることなどがあるので、それは今やっていますとお伝えすることがある。取り組みやすいのはお金がかからないこと。取り組むにはどうしても予算を確保しなければいけないので、それは取り組みやすい。

#### 参加者

最近公園に行ってバスケをすることが多い。中津川市は河川敷と本町公園にバスケットリングがあるが、ゴールのネットが無い。小さい子どもがバスケットをしているが、ネットが無いとボールが入ったらそのまま下に落ちてきて、ボールが当たって怪我をしてしまうので直るといい。

暗い時間帯に公園へ行くと、高齢者の方も歩いているが、階段が暗くて転んでいる人を見た。照明の暗さについて中津川市役所へ言ったら直してもらえるのか聞きたい。

#### 市長

バスケットのゴールリングのお話は、すぐにはできないかもしれないが、今日持ち帰らせ

ていただく。さっきの話で言うと、すぐに対応できる部類だと思う。

明かりについては、高齢者の方が転んでしまうというのは危ないので、どの程度で安全性が保たれるかというのもあるが、一度考えます。具体的な場所はどこですか。

#### 参加者

川沿いから本町公園へ降りていく階段。大袈裟に転んだわけではないが、つまづいていたのを見た。

#### 市長

どこまで照明を付けられるか、そもそも階段が安全かどうかも含めて、それぞれの担当部署で検査する。

#### 参加者

照明、街灯についてだが、車を運転していて、蛭川、福岡、付知などは、街灯が少ないと思った。暗い道を運転するのは、運転手にとってもリスクになる。街灯を増やすことは予算的にできないか。地域に住んでいる人たちも望んでいると思う。

#### 市長

道が暗いのは同感。明るくするのは安全面でもいいことだが、道はそれぞれ管理しているところがある。国道は国。県道は県、市道は中津川市。もし国道が暗いなら、国で整備しなければいけない。市としてできるのは市道。国、県に要望することはできるが、予算も必要ですぐには難しい。しかし、歩行者の安全性や安全に車を運転してもらうためなので、もう少し具体的に要望を出してもらうと解決できるかもしれない。

#### 参加者

市長から見た、ここが問題だと思うことをお聞きしたい。

#### 市長

問題というか課題は山積み。皆さんに身近なことだと、今日のテーマでもある若者が住みたくなる中津川。どうやったら若い人たちに、中津川市に住んでもらえるか。どうしたら、子育て世代の人たちに中津川で子育てをしてもらえるのか。中津川市だけではなく、東京などの首都圏以外はどこも人口減少。そんな中でどうやって人を増やしていくかは、中津川市だけではなく、日本全国どこも近々に取り組んでいかなければいけない課題。皆さんから、こうしたら若者が住むようになるとか、こんなまちだったらもっといいまちになるとか、若者目線での意見を聞きたい。

### 参加者

自分たちはスポーツをやっていて、プロ野球選手やいい選手を真似して成長する。東京などは若者が増えているので、真似したり似せたりできたら、中津川もにぎわってくるのではないかと思う。

### 市長

良いことは真似していいと思う。それが中津川市にマッチするか。例えば、プロのチームを作ること、地元を活性化させて、スタジアムを作って、人を呼び込む。これは人を呼び込むとか、まちを賑わせる手段としては、大いにありだと思う。他にも、オリンピック種目にあるスケートボードなどに関連して、中津川に世界最大のスケートパークを作って世界中から選手を呼び込むとかも面白い。

リニアが通るまでの10年間にどういう中津川市を作っていくか。リニアが開業したときに、中津川に行こうと思ってもらえるまちを作って、魅力を発信しなければいけない。若い人たちがリニアに乗って来る、中津川で降りてもらうためにはどうしたらいいか。いろいろな切り口、やり方があると思う。

中京学院大学、特に中津川キャンパスはスポーツが盛んで、皆さん夏の全国大会に出場される。全国大会、世界大会に出るような選手を集めて、種目を増やしたら、それを目掛けて学生さんがもっと増えるとか。

### 参加者

おいでん祭のような祭りを増やしたらいいと思う。7月にも祭りをしたり、菓子まつり、馬籠フェスのようなイベントを増やせば、中津川に行きたいと思うのではないかな。イベントが増えて、出店する人、サービス業の売り上げが伸びれば地域の活性化に繋がる。

### 市長

祭りというキーワードが出た。どんな祭りだったら若者の皆さんは行きたいと思うか。

### 参加者

若者はテレビを見ない。スマホやSNSで調べて出てきた祭りに行くので、SNSでPRして、中津川も検索にヒットすれば人が来ると思う。花火や屋台が多い祭りは魅力的だと思う。

### 市長

皆さんが行こうと思うような祭りを企画することがとても重要。自分も過去に肉フェスを企画した。それは、子供から大人まで肉はみんな好きだと思ったから。祭りで人を集めるというのは、いいアイデアだと思う。

#### 参加者

中津川市は自然がたくさんある。キャンプサイトやキャンプ場をもっと売り出したらキャンパーの人、子育て世代など来てくれるのではないかな。

#### 市長

付知などキャンプ場がたくさんある。地元の人、中京圏の人から人気。より使いやすくして SNS で発信するといい。自然がたくさんあるので、それを生かした体験ができることは中津川市として伸ばしていける特色の一つだと思う。

#### 参加者

自然が豊かっていうのが、中津川市の魅力。森を生かしたアスレチックパークを作ってみるのがいいのではないかな。無駄な森林伐採や自然破壊をせず、逆にそれを生かして子どもから大人まで安全に遊べる施設。川の近くにあって川遊びができて、体を動かしてキャンプができてというような一体型の施設があれば、子育て世代、若者を呼べたり、SNS で発信しやすいのではないかな。

#### 市長

中津川市の面積の 8 割は山。その山を生かさない手は無い。中津川でしか体験できないようなものをやるのがいいと思う。一番長いつり橋を作って観光名所にするといったのもよくある。一つ目玉があるだけで違うし、そこに自然や山、川を融合する。学生も楽しめる、子供も楽しめて行った親も楽しい。おじいちゃんおばあちゃんが森林浴できて、元気になる。そんなふうに家族みんなで楽しめたらとても良い。

#### 参加者

青木斧戸線が完成したので、道路沿いがもっと栄えるといいと思う。

#### 市長

若い市民の皆さんから、商業施設が少ない、いろいろなお店を誘致してと言われることがある。それも人を呼ぶための一つの方法だと思う。青木斧戸線は、いくつかお店ができる予定ですので楽しみにしててください。

#### 参加者

質問ではないけど、びっくりドンキーがほしい。

#### 市長

なぜびっくりドンキーがほしいの？

**参加者**

長居できるし、ご飯が食べられる。ファミリーにもおすすめ。味も美味しい。

**市長**

すごく支持されてるんですね。

**参加者**

定期的に食べ物のフェスを開催してほしい。定期的にやって SNS で宣伝したら人も来ると思う。リニアが出来たら都市部からの距離も近くなる。

**市長**

食べ物のフェスを中京学院の皆さんで企画したらどうか。

**参加者**

やると決めたら今年中にできるのか。

**市長**

皆さんが決めたならできる。大学生の皆さんの若さは原動力。

**参加者**

栗きんとんなど中津川の名物ではなくてもいいのか。

**市長**

何でもいい。単純に、皆さんが何をやりたいか。何をやったら盛り上がるか。皆で楽しめる、市民の皆さんが集まってくれる、小さい子どもたちが喜んでくれる、そういう発想でいい。

学生が企画して、やりたいと声を上げたら、協力してくれる人たちは必ずいる。

**参加者**

やりたい。市長も含めて色々な方に協力していただいて、活性化にもつながる。

**市長**

活性化にもつながるし、何かを企画してやるのは楽しい。やった後には達成感もある。今年も肉フェスをやるのは決まっているので、そこに中京学院の皆さんが、何か一緒になってやるのもあり。

**参加者**

肉フェスの時に大食い大会とか面白そう。

**市長**

中京学院の皆さんは、ACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）で子供たちと一緒に遊んでくれたり、それぞれのスポーツの分野で貢献してもらっている。イベントのボランティアなど、中津川市にいろいろな形で貢献してくれている。

**参加者**

リニアの駅が坂本にできるが、坂本駅の周りが寂しすぎる。あれだと人が降りてくれない。飲み屋街が欲しい。

**参加者**

出店に関しては経営側の話になるが、中津川市として協力することはできるのか。

**市長**

協力というか、誘致はできる。例えば、一帯を飲食店街にするという整備をすれば、あとはどれだけ集まるか。

**参加者**

中津川駅の周りの飲み屋街で、経営を希望している人はいるのか。

**市長**

希望している人がいるかは分からないが、ここで店をやりたいと思ってもらえるようなまちにしないといけない。リニア駅の周辺でいうと、どんな駅前になっていくかがまだ明確になってない。飲食店になるかは別として、中津川市の駅で降りてもらい、そのきっかけを作らなければいけない。

**参加者**

音楽フェスに呼ぶアーティストは、有名な方を呼ぶのは難しいか。

**市長**

呼ぶアーティストに関しては、実行委員会が人を選べるのではなくて、アーティストとの間に入るプロモーターさんが調整する。リクエストはできるかもしれない。

### 参加者

中津川は自然豊かで、そこがいいところ。リニアができて大都市とつながるが、自然を大切にしてほしい。あとは一本で観光地に行ける交通の便があったらいいし、本数を増やして欲しい。

### 市長

自然豊かというのはその通り。

路線バスは、リニアの開業に向けて整備が必要。例えば自動運転、自動運転バス。タクシーやバスの運転手が不足しているので、本数を減らすしかないという影響が出ている。今後、運転手が増えるかという点と難しい。交通手段をどうするかは考えていかないといけない。

### 司会

最後に市長から全体を通しての感想をお願いします。

### 市長

就職して中津川を離れる人もいると思うが、仲間と共に大学時代を過ごしたことは一生の中でも貴重な経験になる。皆さんにまた来たいと思ってもらえるようなまちを、市民の皆さんと一緒に作っていく。外から見た中津川について、ぜひご意見をください。

### 学生代表

もうすぐ就職するが、貴重な経験をできた。就職して他県へ行っても、中津川に帰ってきたいと思えるように、あと少し卒業までの時間を過ごしたい。